

なんきょくぽっぷ

南極POP

南極POPは「角POP」をベースに開発した書体です。漢字の角部分を尖ったストロークにし、まるで南極にそびえ立つ山脈の頂きを連想させる爽やかなデザインになっています。また、ストロークの繋ぎ目に空間を施すことで、硬さの中にもどこかホッとさせるユニークさが生まれました。看板やタイトル、ロゴにオススメの書体です。



カテゴリー：POP系書体
書体の太さ：W7
フォントフォーマット：



南極POP W7 350

あいうえおかきわをんアイウエオカキワヨン
がぎぐげごガギグゲゴ A B C D E a b c d e
永愛池絵草樹築 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! ? @

尖ったストロークが山の頂きを連想させる書体

漢字部分には山頂の頂きを思わせる尖ったストロークを採用し、山頂を連想させる字形を採用していますが、仮名部分ではあえて鋭角を作らず平らにすることで、剛柔の要素を取り入れたPOPなデザインになっています。



南極POP W7 120

先生は、黒板に吊した大きな黒い星座の図の、上から下へ白くけぶった銀河帯のようなところを指しながら、みんなに問をかけました。カムパネルラが手をあげました。それから四五人手をあげました。ジヨバンニも手をあげようとして、急いでそのままやめました。

南極POP W7 500

銀河鉄道の夜

宮沢賢治

南極POP W7 300